

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	東広島市立中央中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「社会的能力を高め、学力を定着させる生徒の育成」～SEL-8S 学習プログラムの計画的な実践を通して～		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像	
生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えはもっているが、自分から発信しようとする生徒が少ない。</li> <li>・自分の気持ちが先行し、他者の気持ちに立てない行動・言動があり、トラブルになることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な人間関係を築き、維持し、修復する力</li> <li>・自分の感情を意識し、上手に調整する力</li> <li>・人の気持ちを理解し、共感を示す力</li> </ul>



◆ 取組の具体的内容	
<b>取組を実施する意図及びねらい</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SEL-8 プログラムを組織的、計画的に行うことで、社会的能力の向上を図り、学力の向上につなげることをねらいとする。</li> </ul>	
<b>取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等</b>	
<p>★広島大学大学院 米沢 崇 准教授の監修のもと、大学院生が考えたカリキュラムで授業を実施する。</p> <p>★取組前後の生徒及び教員の授業に対する意識調査を比較し、各項目で肯定的評価の割合が80%以上となることを目指す。</p> <p>＜事前の指導・導入＞ ⇒ 全学年で実施（年間9～10時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 校内研修にて、研究の方向性、SEL 内容・指導するにあたっての留意点など確認。</li> </ul> <p>＜実施内容（抜粋）＞</p> <p>「単元名：下級生や大人への挨拶「状況に応じた挨拶」（2学年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後輩や同級生、先生、職場体験先の方では、それぞれ適切な挨拶や接し方があることに気づけるよう、ロールプレイングを通して、状況に応じたコミュニケーションをとる体験ができた。その結果、その後の職場体験学習では、状況に応じた言葉遣いや立ち振る舞いが意図的に行えた。</li> </ul> <p>＜事後の分析＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全生徒に事後アンケートをとり、分析したところ、他者意識をもったり、相手の気持ちに気づいて行動を考えたりできるようになった生徒が多かった。SEL の学習体験により、友達との関係が良好になったという意識が生徒の中で多かった。それに比例して、問題行動の件数も、授業を重ねていくうち、前期よりも後期の方が件数が減り、一定の成果もあったのではと分析した。</li> </ul>	



◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○SEL-8 プログラム実施に比例して、問題行動件数が減っており、この学習の影響も関係していると考える。</li> <li>○上記の結果を踏まえ、学級のHR や道徳、学年集会などで、日々の生活を振り返りながら、成長した部分は評価しつつ、課題点や改善点については具体的に示し、次のステップアップへの道を確認できた。</li> <li>○行事等を上手く活用しながら、SEL の内容を生かしたことを生徒の振り返りから見取ることができた。</li> <li>●SEL-8 の授業と授業の間が少し空き、学習のつながりを上手く感じるができなかった。来年度は、より計画的かつ、1時間1時間のスパンをもう少し短くし、行事や日常生活とリンクしやすい時期を狙って行いたい。</li> <li>●事後のアンケート後に校内研修を行い、分析結果からの改善内容や改善指導方法の検討等を行い、具体的な改善指導を職員共通認識のもと、年度末に向け実践指導が行えるとよかった。</li> </ul>